



スライドカンファレンス 婦人科回答

大阪がん循環器病予防センター
呉美優貴



症例

46歳女性、0妊0産

既往歴：乳癌（41歳、左乳房全摘）

現病歴：乳癌の術後ホルモン療法中、フォローで内膜細胞診施行。

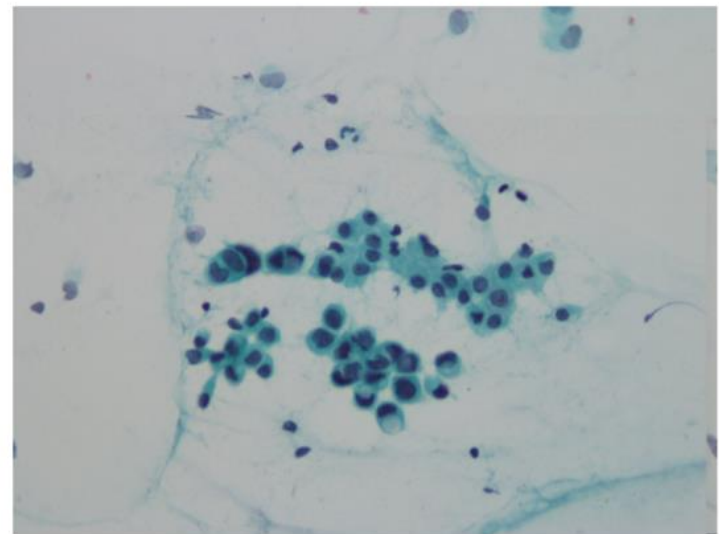
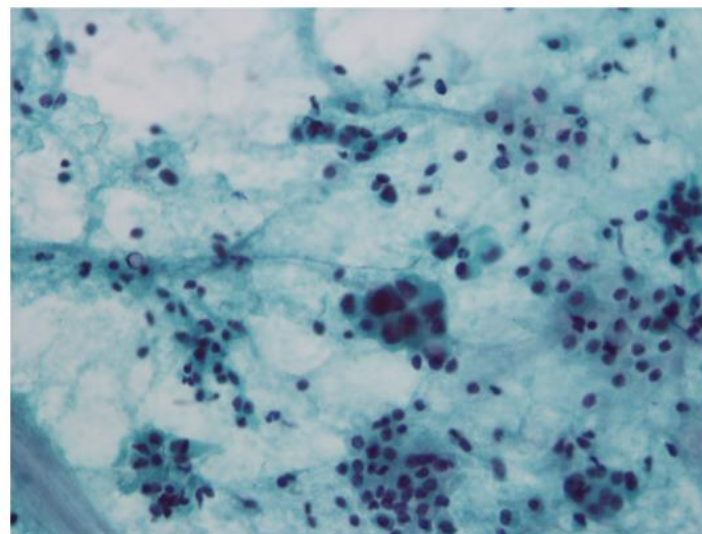
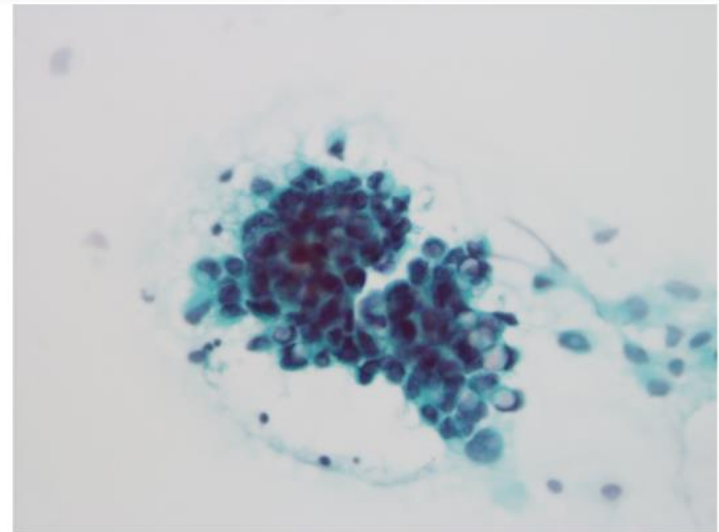
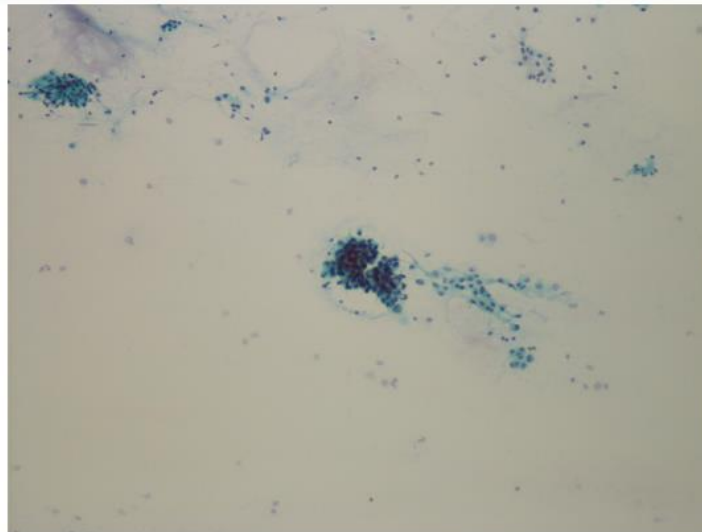
治療開始後、月経発来なし。不正出血無し。

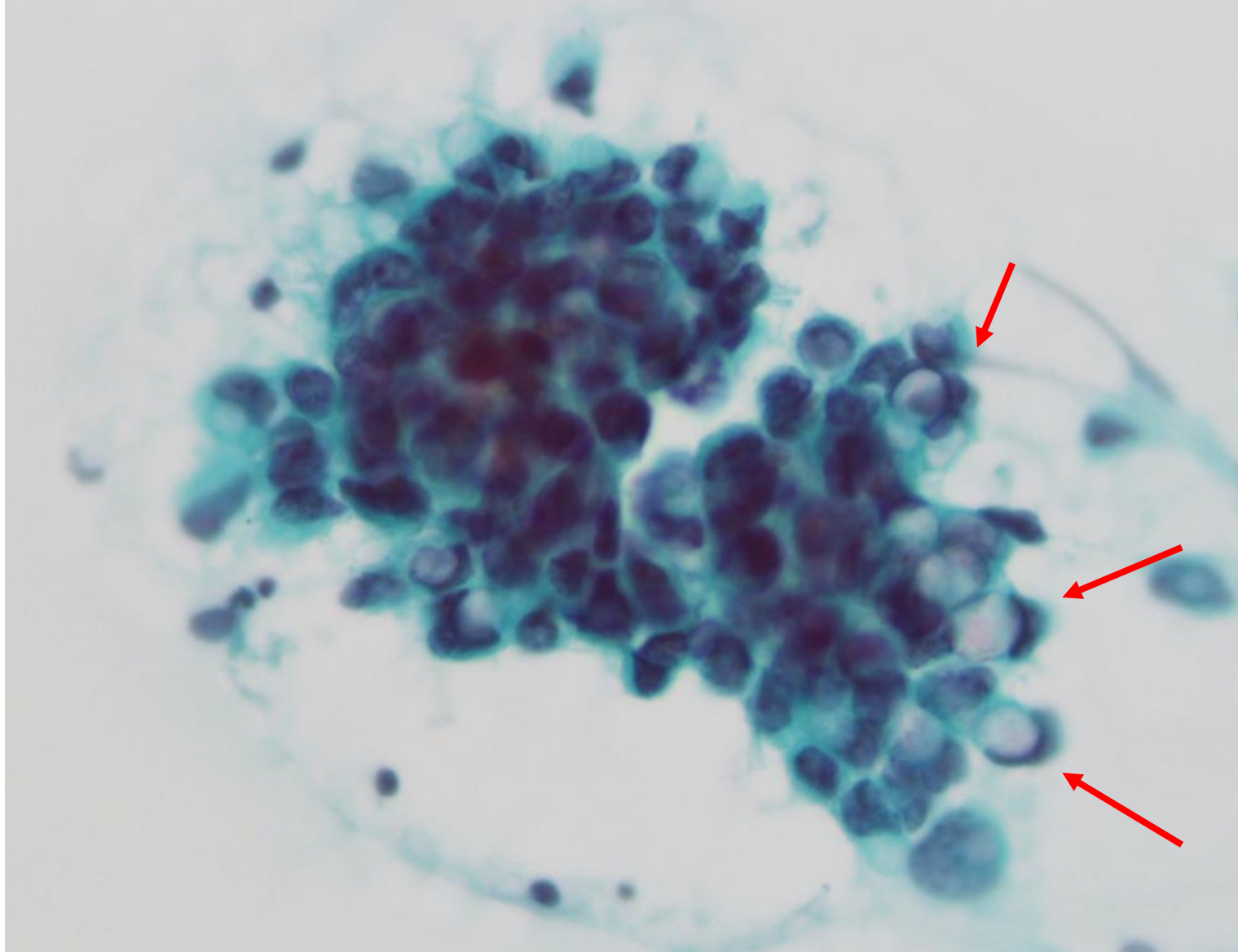
標本の種類：内膜

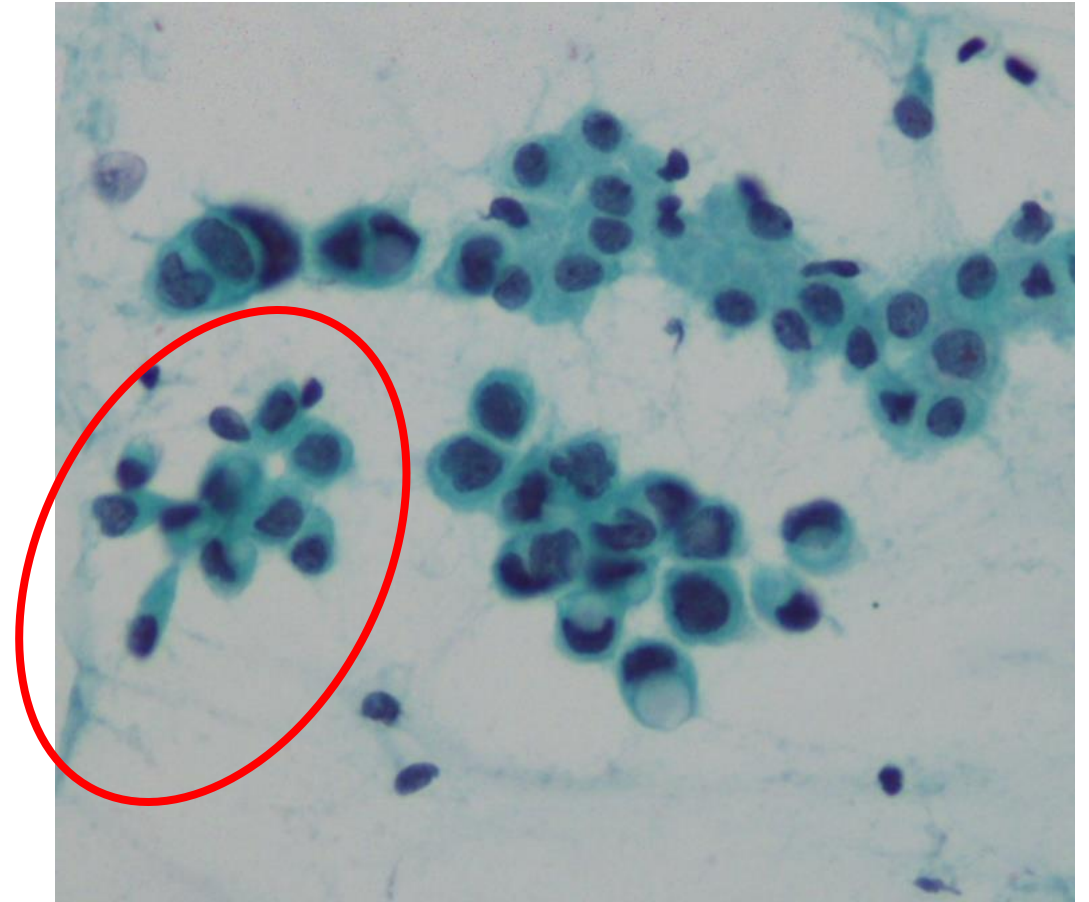


選択肢

1. 類内膜癌
2. 漿液性癌
3. 小細胞神経内分泌癌
4. 乳癌（小葉癌）の転移
5. 悪性リンパ腫







選択肢

1. 類内膜癌：腺腔形成、篩状構造や乳頭状増殖などの構造異型
2. 漿液性癌：乳頭状集塊、強い異型性、大小不同
3. 小細胞神経内分泌癌：高度なN/C比、肺の小細胞癌に類似
4. 乳癌（小葉癌）の転移：緩い結合性、線状・索状配列、細胞質内小腺腔
5. 悪性リンパ腫：リンパ球系の異型細胞

